

1. 施設の運転期間

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉
運 転 期 間	5/1～25	5/1、5/3～31	5/1～31

2. 廃棄物の処理状況

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉	合 計
一般廃棄物 (t)	3,249.1	4,191.3	4,530.2	11,970.6

3. 設備にたい積したばいじんの除去を行った日

【実施頻度：施設停止中に随時】

	第 1 工場 1 号炉	第 2 工場 1 号炉	第 2 工場 2 号炉
温度調節器	—	—	—
集じん機	—	—	—
触媒脱硝装置	—	—	—

4. 施設の運転に係るデータ（連続測定値）

	第 1 工場 1 号炉	第 2 工場 1 号炉	第 2 工場 2 号炉	維持管理基準
燃 焼 ガ ス 温 度 ※ ¹ (℃)	857	875	893	800℃以上
集 じ ん 機 前 ガ ス 温 度 ※ ¹ (℃)	147	150	154	概ね200℃以下
排 ガ ス 中 の C O 濃 度 ※ ^{1, 2} (ppm)	7	8	4	100ppm以下

5. 排ガス中のばい煙測定結果

【測定頻度：2か月に1度】

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉	排出基準
測定位置	—	—	—	
測定日	—	—	—	
測定結果が得られた日	—	—	—	
ばいじん ※2 (g/Nm³)	—	—	—	0.08
硫黄酸化物 (Nm³/h)	—	—	—	第一工場：12.389 第二工場：12.186
窒素酸化物 ※2 (ppm)	—	—	—	250
塩化水素 ※2 (mg/Nm³)	—	—	—	700

6. 排ガス中のダイオキシン類測定結果

【測定頻度：1年に1度】

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉	排出基準
測定位置	—	—	—	
測定日	—	—	—	
測定結果が得られた日	—	—	—	
ダイオキシン類 (ng-TEQ / m ³ N)	—	—	—	1

※1 日平均値の測定期間における平均値です。

※2 ガス中の酸素が12%の状態に換算した値です。

1. 最終処分場について

場所	廃棄物の種類	埋立量 (m ³)	埋立開始日	埋立終了日
北東側	集塵灰固化物	11,884	昭和55年4月1日	昭和58年3月28日
北西側	集塵灰固化物	39,938	昭和58年3月27日	平成11年7月30日

2. 施設の点検結果

		点検対象施設			
		擁壁等	覆土	側溝	看板等
点検日		令和6年5月30日	令和6年5月30日	令和6年5月30日	令和6年5月30日
点検方法		目視	目視	目視	目視
点検結果（異常の有無）		無	無	無	無
必要な措置を講じた日と内容	日付け				
	内容	無	無	無	無

3. 水質検査結果

測定頻度：周辺地下水：1月1回（全項目は年1回）
：点検井戸：3月1回（全項目は年2回）

採水箇所		周辺地下水	
		3号井戸	5号井戸
電気伝導率	mS/m	24.2	21.4
塩化物イオン濃度	mg/L	15	16
採水日		令和6年5月2日	令和6年5月2日
報告日（検査結果の得られた日）		令和6年5月21日	令和6年5月21日